

## 女性活動の合いこば

- 一、手と心をつなぎ、明るく豊かな町をつくりましょう。
- 一、互いに人格を認めあい、奉仕の心を養いましょう。
- 一、からだをきたえ、人生に希望と誇りをもちましょう。
- 一、お年寄りを敬い、子供を愛し、円満な家庭をつくりましょう。
- 一、力を合わせて、薫り高い郷土の文化をつくりましょう。

標茶町女性団体連絡協議会機関紙



第184号 平成30年1月1日

標茶町女性団体連絡協議会

発行責任者 会長 千葉 博子 標女連広報委員会

### 新年を迎えて

標女連会長 千葉 博子

皆さん、あけましておめでとうございます。新春を新しい気持ちで迎えられたことお慶び申し上げます。今年はいぬ年です。穏やかな年になるとよいですね。

昨年は、標女連の活動に対し、標茶町をはじめたくさんの方の支援・協力をいただき、役員一同感謝申し上げます。

恒例の男女平等参画標茶集會をはじめ、釧女連や全道女性大会への参加、関連する各団体の会議への出席など、町内にとどまらず釧路や札幌、厚岸と活動してまいりました。昨年は、標茶町が当番となり釧路管内の役員約20人と共に全道女性大会に出席し、楽しく学び交流させていただきました。



きました。

また、3月に予定している女性のつどいは、例年たくさんの方にご参加いただき称賛のお声をいただいております。今年もたくさんの方の参加をお願いします。

今年も、皆さんと共に地道に歩み、標女連の活動を楽しく意義あるものにしていきたいと思っておりますので、ご支援、ご協力をよろしくお願いたします。

### 平成29年男女平等参画標茶集會に参加して

男女平等参画副委員

山口 紀子

平成29年11月25日に開発センターで男女平等参画標茶集會を開催しました。今年も標茶町役場保健福祉課健康推進係、管理栄養士、南口由佳さんへ講演を依頼し「健康なカラダは毎日の食事から」というテーマで50人の町民の皆さんと共にお話を聞きました。

標茶町民の健康寿命は、男性77・3歳で2・5歳、女性82・6歳で4・5歳全国平均より長く、歳を重ねても健康で自立している人が多いとのことでした。健康で楽しい人生を送るためには生活習慣を

正すことが大事で、①高血圧

②歯肉炎および歯周疾患③糖尿病④脂質異常病⑤虫歯は日々の生活習慣と関係しているそうです。健康寿命に関わる要因の一つとして食生活を見直してみようと、現代人の食生活環境を学びました。自己の食生活をチェックし、栄養素をテスト形式で楽しく勉強する時間もありません。

日ごろの食事で摂取数の少ない野菜をひと工夫したメニュー、菌ごたえが楽しい切干大根の混ぜご飯、お弁当にもぴったりの豚肉ときのこの生姜焼き、常備菜にできる人参の酢きんぴらが食生活改善協議会の皆さんに調理していただき提供されました。50人以上の方と同じ学習をし、同じ物を食し会場が一体になったようでした。

1日3食をとることや主食・主菜・副菜を整えることが健康な体を作るための一歩だということを学習し、今日の講演で学んだことを少しでも実践できるよう、努力しようと思えます。

日本は2017年世界男女平等ランキングの144カ国中114位とお話がありました。私たちは大きな事は変えられないかもしれませんが、せめて食事の作り手に対して

「ごちそうさま」や「ありがとう」の言葉があると、だんだんと台所の男女平等の意識が高まるのではないかと思います。

講演に参加してくださった皆さんや力を貸して下さった教育委員会の皆さん、試食を作って下さった食生活改善協議会の皆さん、この講演を快く引き受けて下さった南口さんにお礼を申し上げます。ありがとうございました。

### 会の動き

- 11月25日：男女平等参画標茶集會
- 12月：役員会

### 予定

- 1月下旬：理事会
- 2月上旬：理事会・女性のつどい町内会案内・ポスター掲示
- 2月中旬：役員会
- 3月3日：女性のつどい準備
- 3月4日：女性のつどい
- 3月中旬：役員会

# 平成29年度 全国学力・学習状況調査 調査結果のお知らせ

今年度も、文部科学省による「全国学力・学習状況調査」が実施され、本町の小学校6年生、中学校3年生が参加しました。この調査で測定できるのは学力の特定の一部であり、学校教育の一面ではありますが、調査結果を今後の教育活動の改善に向けて活用していきます。

## 調査の概要

### ■調査実施日

平成29年4月18日

### ■調査実施児童生徒

町内の小学6年生50人  
町内の中学3年生70人

### ■調査の内容

① 教科に関する調査（国語、算数・数学）

- ・ 主として「知識」に関する問題（国語A、算数A・数学A）
- ・ 主として「活用」に関する問題（国語B、算数B・数学B）
- ② 生活習慣や学習環境などに関する質問紙調査
- ・ 児童生徒に対する調査
- ・ 学校に対する調査

## 教科に関する調査の結果から

小学校6年生の各教科の平均正答率は、全国平均正答率を上回りました。

中学校3年生は、国語Bと数学Aが全国平均を上回りましたが、ほかの2教科は全国平均を若干下回りました。

### ■改善がみられたところ

小中学生ともに国語B問題において「目的や意図に応じて、自分の考えを書く」「事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように話す事を書く」などの記述式の問題の正答率が全国平均を上回っています。

### ■学習状況について

「国語の学習が好き、どちらかと言えば好き」の割合が小学生に7割以上となっており、この割合は中学生に上がるに従って高くなっています。

「算数・数学の学習が好き、どちらかと言えば好き」の割合は小学生で9割以上ですが、中学生で減っています。

## 生活・学習習慣に関する調査の結果から

家庭での過ごし方について変化が見られるようになってきました。

### ■家庭学習の習慣について

- ・ 「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」  
小学生：82% 前年比8ポイント増  
中学生：59% 前年比3ポイント増
- ・ 「家で、学校の宿題をしていますか」  
小学生：98% 前年比4ポイント増  
中学生：86% 前年比12ポイント減
- ・ 「家で、学校の授業の復習をしていますか」  
小学生：90% 前年比15ポイント増  
中学生：76% 前年比6ポイント増
- ・ 「読書は好きですか」  
小学生：60% 前年比7ポイント増  
中学生：54% 前年比1ポイント増
- ・ 平日1時間以上勉強をしている（塾・家庭教師含む）  
小学生：86% 全国比22ポイント増  
中学生：46% 全国比23ポイント減
- ・ 休みの日に1時間以上勉強をしている（塾・家庭教師含む）  
小学生：17% 全国比7ポイント減  
中学生：26% 全国比15ポイント減

### ■メディアなどに触れる時間について

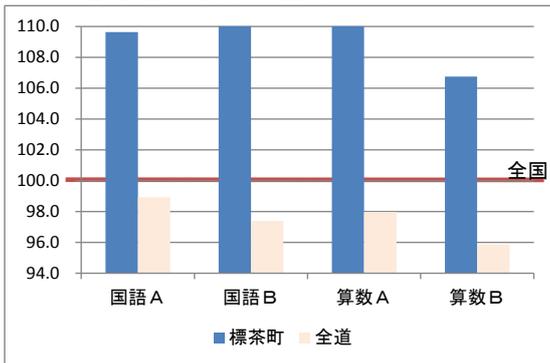
- ・ 平日2時間以上テレビなどを見ています  
小学生：24% 全国比32ポイント減  
中学生：33% 全国比16ポイント減

・ 平日2時間以上ゲームをしている  
小学生：9% 全国比22ポイント減  
中学生：26% 全国比11ポイント減

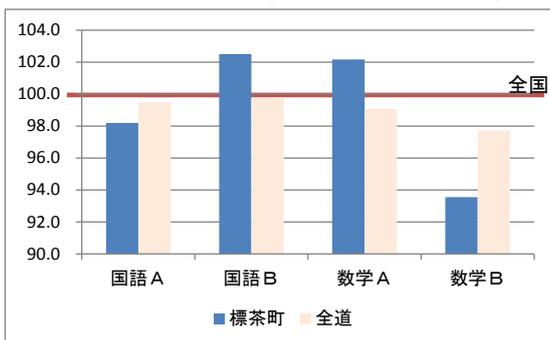
・ 平日2時間以上スマートフォンなどを使っている  
小学生：5% 全国比7ポイント減  
中学生：22% 全国比10ポイント減

家庭学習の習慣が身に付いてきました。内容としては、復習を中心に学習していることが分かれます。しかし、中学校3年生では、学年に見合った学習時間としては短い傾向にあることが分かれます。また、テレビやゲームなどのメディアなどに触れる時間の長さについては、全国平均よりも少ない傾向がみられます。

小学生の結果（全国を100として）



中学生の結果（全国を100として）



◎ 今後に向けて

・ 学力の状況については、各学校の指導改善の取り組みや各校との連携による基本的な生活習慣改善の取り組みが、調査結果にも表れていました。

・ 学年が進むにつれ、家庭学習の時間が学年に見合っていない傾向が見られます。部活動と学習の両立など、子どもたちには、自分の時間を自分で管理する力が求められます。

・ 地域の行事へ参加している児童生徒の割合が全国平均よりも高いのが標茶町の特徴です。他者に対する思いやりとともに、自己を自律的管理する力をバランスよく育てるよう、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を發揮して協力し合うようご理解とご協力をお願いいたします。